



「せとしんプロボノプロジェクト」 ～ 瀬戸信用金庫×コミュニティ・ユース・バンク momo の取組 ～

経緯

NPOバンクであるコミュニティ・ユース・バンク momo（以下「momo」）は、2011年度より自治体とNPO等地域ビジネス事業者に対する資金的支援等の仕組み（愛知県「地域内“志金”循環促進事業¹」等）を検討。2012年、国土交通省の「新しい公共」の担い手による地域づくり活動に対する非資金的支援のモデル事業に momo の「しんきん&ろうきんプロボノプロジェクト」が採択され、県内地域金融機関の職員が、職業上持つ知識や経験、スキルを活かせるプロボノパートナーとしてNPO等の課題解決に取り組んだ。

2013年度からは、この取組をさらに発展させて、momoと瀬戸信用金庫の職員が6ヵ月間継続的にNPO等支援に関わることで、NPO等の課題解決と金融機関職員の人材育成の実現を目指す「せとしんプロボノプロジェクト」（以下、「プロジェクト」）を実施。なお、同様の取組はmomoと東濃信用金庫による「とうしんプロボノプロジェクト」においても実施されている。

内容

瀬戸信用金庫職員が、業務で培った知識やスキルを用いて、NPO等の地域課題解決を目指す事業者を「プロボノ」として勤務時間外に支援するプロジェクト。主な取組内容は以下のとおり。

○定例ミーティングの開催

半年間、毎月1回、業務終了後に定例ミーティングを開催し、瀬戸信用金庫職員と中間支援組織のアドバイザーが参加して、NPO等の事業者支援を実施。

また、定例ミーティング以外にも打合せや現地視察などを重ねて、課題の深堀を行った。

2013年度は、2事業者に対し、職員27名が組織課題解決やSROI²測定に取り組んだ。

○情報発信

成果報告会（フォーラム）を開催し、本事業に携わっていない瀬戸信用金庫職員や一般の方に対しプロジェクトの取組内容を発信し、NPO等支援事例の周知を図った（参加者115名）。

また、定例ミーティングの内容について、職員がブログ記事を執筆し取組内容の発信を行った。

2014年度は、前年度とは異なる2事業者に対し、職員37名がSROI測定支援に取り組んでいる。

1 活動資金が不足しているNPO等を対象に、寄附・融資制度の情報や寄附・融資を受けるためのノウハウの提供等を実施することにより、地域内における資金循環の円滑化を図ることを目的とするもの。（出所：あいちNPOプラザホームページより）

2 「Social Return on Investment」の略。社会的投資収益率。社会課題の解決がもたらす定性的な価値を、貨幣価値に換算して定量的に示す指標。（『せとしんプロボノプロジェクト』のあゆみ』ホームページより）

□ 効果

○プロジェクト参加事業者への融資実行

2013年度のプロジェクト終了後、支援対象だったNPO等事業者の一つに設備資金の融資を実行。
具体的には、同事業者は、創業時は金融機関からの資金調達ができず、NPOバンクから資金を調達したが、プロジェクトを通じて瀬戸信用金庫職員が同事業者に対する理解を深め、事業内容の評価が可能となり、新規事業立上げのための融資に結びついた。

○NPO等支援体制の強化

事業を主催したNPOバンクや中間支援組織のアドバイザー等との協力関係を構築することができ、NPO等支援に対する体制強化につながったとのこと。

○人材育成

参加職員のNPO等の行う地域ビジネスへの理解を深める良い機会となった。また、所属や年代の異なる職員が集まり、協力して事業者支援に取り組むことが、今後の業務の上でも役立つとのこと。

□ momo 木村真樹代表理事の本プロジェクトに関わっての効果や感想等

「プロボノプロジェクト」は、地域金融機関にとって3つの意義があると考えています。

- ・「NPO等」という新たな融資対象を認知してもらうこと
- ・momoの「NPO等」への目利き能力を活かすことで、地域密着型金融が促進されること
- ・職員が通常業務では得られない経験を積むことで、地域金融機関の将来の成長可能性を副次的に高めていること

また、momoでは、2013年度から2つの信用金庫と協働するプロボノプロジェクトの成果を踏まえ、地域金融機関がNPO支援に参画するための最新データや事例、専門家の声などをまとめた『お金の地産地消白書2014』を発行したところ、同白書を読む会を各地で開催していきたいと考えています。

□ 融資事例：一般社団法人しん

○融資先の事業内容

精神・発達障害を持つ方の支援を行う「地域活動支援センターとびら」を運営。臨床心理士が中心となり、精神・発達障害者の地域における居場所づくりや自立に向けた支援プログラムを提供している。

○借入申込みの経緯や資金使途の経緯

一般社団法人しんは、創業時に既存の金融機関から融資を断られたが、momoの“志金”で1つ目の施設「地域活動支援センターとびら」を開設することができた。その後、支援の幅を広げるため、2つ目の施設として、生活訓練を行う場である「地域自立支援センターみち」の開設を計画し、店舗賃借や改装等の設備資金及び運転資金の借入れを検討。プロジェクトの伴走支援により瀬戸信用金庫の理解や共感が進み、また、momoからの融資に対する着実な返済実績も評価され、「地域自立支援センターみち」の開設資金の融資実行に至った。

○融資効果

「地域自立支援センターみち」は、2014年7月、名古屋市西区に開設され、11月現在で33名が登録し、通常、病院内でしか実施されていない地域内における自立に向けた訓練を提供している。活動実績を重ね、地域内で精神・発達障害に関する相談ができる場として、認知度も日々高まっている。

○融資先の感想

プロジェクトがきっかけで、瀬戸信用金庫に事業内容について興味を持ってもらい、じっくりと話を聞いてもらえました。今後も、財務面や運営面などでアドバイスをしていただけるとありがたいです。

（「地域自立支援センターみち」でミーティングを行うスタッフの方）



☐ プロジェクトのあゆみに係るホームページ

<http://blog.canpan.info/setoshin-probono/>

瀬戸信用金庫

所在地（本店） 愛知県瀬戸市東横山町 119-1
URL <http://www.setoshin.co.jp>

コミュニティ・ユース・バンク momo

設立年 2005年10月
代表理事 木村 真樹
所在地 愛知県名古屋市東区代官町 39-18 日本陶磁器センタービル5階5-D号室
URL <http://momobank.net>